

講座「長崎市の近代都市形成史」を終えて

岡林 隆敏

平成24年7月から始めた「長崎市の近代都市形成史」講座が、6年間かけて平成30年9月に終了しました。この講座は外国人居留地の建設から戦災復興まで、長崎市の近代黎明期から近代確立期を経て現代化するまでの100年間の歴史を解説するものでした。講座では埋め立て、港、道路、鉄道、水道、町並など都市長崎の変遷を、古写真、絵葉書、地図、各種パンフレットなどの画像を駆使して仮想現実的に表現しました。これは文字中心だった歴史理解を電子機器・画像処理を駆使して、その時代の空間や環境を画像・映像を多用して可視化（現在の若い世代に対応できるように）した手法により、都市の歴史を表現し、解説したものです。長年発掘・収集してきた長崎の近代史に関する、これまで目に触れることのなかった新しい各種資料を活用しました。この講座が長く続けられた理由として、パワーポイント画面の中に自分を没入させ、仮想現実空間を散策できるような視覚的な画面構成に関心を持って頂いたこともあると思います。



浜屋デパートパネル展



最後の講座の様子

講座は全部で27回開催し、1年間平均3〜4回行いました。平成24年7月より1回限りの講座の御依頼でしたが、延々と6年間続くことになりました。越中先生からも面白いか

ら続けたらどうかとご支援を頂きました。毎回40〜50名ご参加下さる会員の皆様からの励ましもあり、講演者、聴講生ともに小学校に入学してから卒業するまでにあたる時間を楽しく過ごさせて頂きました。私の年齢を考えると、もう同じ体験をすることはできないだろうと思います。以下に講座全体の内容を示します。第1期は、長崎近代史の通史を解説しました。第2期では、近代化遺産の視点から個別の施設や工事に重点を置いて説明しました。

【Ⅰ】長崎歴史文化協会講座 第1期 長崎市の近代都市形成史

- 平成24年 第1回(7/23)長崎街道土木遺産
 - 第2回(10/13)中島川変流
 - 平成25年 第3回(3/11)近代道路
 - 第4回(5/27)コレラと下水
 - 第5回(11/18)創設水道と吉村長策
 - 平成26年 第6回(6/23)第2次港湾改良
 - 第7回(7/28)長崎市第1次拡張
 - 第8回(11/17)長崎港の賑わい
 - 第9回(12/8)明治・大正の長崎の街並み
 - 平成27年 第10回(3/16)出島岸壁と上海航路
 - 第11回(5/25)雲仙公園温泉リゾートの開発
 - 第12回(7/6)上海航路と雲仙リゾート
- *平成27年8月12日〜8月17日
「モダン長崎展」― 地図と絵葉書で見る長崎市の変遷―
場所：浜屋デパート(講座内容を68枚のパネルにして展示)

【Ⅱ】長崎歴史文化協会講座 第2期 長崎市の近代化遺産

- 平成27年 第1回(9/7)雲仙の避暑外国人を阿蘇へ、別府へ、関西へ
― 国際観光路線の取組み―
- 第2回(11/16)長崎市の橋の歴史Ⅰ
- 平成28年 第3回(3/7)長崎市の橋の歴史Ⅱ
- 第4回(5/9)長崎市橋巡り
- 第5回(6/27)長崎市の港湾施設(港湾の近代化遺産)
- 第6回(7/25)長崎港改良事業と近代化遺産
- 第7回(9/26)長崎水道施設(下水・本河内高部・西山ダム)
- 第8回(11/21)佐世保市の近代化遺産
- 平成29年 第9回(5/22)長崎市の道路
- 第10回(7/10)長崎市の海底電線
- 第11回(9/11)長崎市の世界遺産紹介
- 第12回(11/16)原爆被害
- 平成30年 第13回(9/3)戦災復興による都市の変化
- 第14回(9/10)明治維新150年から見た長崎の歴史
- 平成31年 第15回(3/4)町建てから江戸初期における長崎の都市形成(予定)

この間、講座で取り上げた「針尾無線電信所」「本河内水道施設」が国指定重要文化財になり、「旧国道25号線3橋」が登録文化財に指定されました。当時の歴史的構造物を残すことが将来、歴史を実感する歴史的資産になると思います。

最後に、講座の場を提供して下さいました長崎歴史文化協会、並びに講座の継続をご支援下さいました越中哲也先生に感謝致します。また、6年間お付き合い下さいました会員の皆様にお礼申し上げます。今後とも、長崎歴史文化協会の活動と長崎学の伝統が継承されることを願っております。

(長崎大学名誉教授)

風信

○二月三日と言えば「節分」ですね。今年の節分は二月三日でした。この日は旧暦では十二月二十九日でした。そして、旧正月の一月一日は二月五日でした。昔は「お正月」より春と言ったので、今年のように「冬と春」とを分ける節分が正月より前になると困ったよう古歌集に次の和歌がありました。
年のうちに 春は来(き)にけり この年を
去年(こぞ)とや言はん 来年とや言はん
○長崎の街では、中国関係の人達が多く住んでおられた新地、梅ヶ崎・館内方面では旧正月になると「元宵祭」がありました。現在はこの元宵祭が「ラントン・フェスティバル」として湊公園、唐人屋敷、孔子廟を中心に二月五日より十九日まで中国雑技団・皇帝パレード、媽姐行列などがあるので是非おいで下さいとの事。

○先日、私達が今まであまり知らなかった諫早方面の史跡や資料を諫早美術・歴史館の大島大輔先生に御案内して戴きました。諫早と言えば本明川、その河口にある唐津という町の史跡、本明川中流にある安勝寺を中心にした歴史資料の数々、その中には鎌倉時代に製作されたと伝えられる釈迦三尊佛には驚かされました。

○本会主催の二月講座は「冬休み」としていましたが、「古文書学研究会」の皆様のご要望で二月五日(火)、十九日(火)午前十時半より二回開催する事になりました。(世話係・川原清、米田輝臣、西村仁、久保美洋子、高岡絹子。後見・越中哲也)

○長崎日本ポルトガル協会より本年度総会を二月二十七日午後二時半より長崎南山手にあるANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒルで開催するのをご参加下さいとの事。尚、当日は長崎市出島復元整備室の学芸員・山口美由紀女士の「南蛮塀研究」の発表講演あり。(日ポ協会々員外の参加希望者は日ポ協会事務局まで御連絡下さい。☎〇九五―八二八―八八五九)

○今月御寄贈いただいた書籍
一、西日本文化協会(福岡市)より、『西日本文化・No.489』新春座談会「ふるさと学を楽しむ」を中心に各種研究の発表があり、楽しく読ませて戴きました。(西日本文化協会刊・七〇〇円+税)

長崎歴史文化協会研究室

TEL八二二―一五四〇

十八銀行旧公会堂前出張所2F

